

江戸時代の村と現代①

前月号で、現代の大字が、ほぼ江戸時代の村であったという話をしました。この江戸時代の村は、村人たちの生業（農業）、日常生活や信仰などでの協力の場となっていたことにとどまらず、年貢や諸役（税や労役など）負担の単位ともなっていました。つまり江戸時代において、領主から賦課される年貢や諸役は、村人個人や各家ではなく、村を単位として割りふられ、村の責任で全て納めることを義務とされたのでした。こうした年貢諸役を村全体の責任で納めるようにした制度のことを、**村請**（**村請制**とも。村に請け負わせるということ。）といいます。

現代では、納税通知書は、個人や家を宛所として届きますが、江戸時代は村宛に届いたのです。この村宛にきた江戸時代の納税通知書のことを「**年貢割付状**」といいます。因みに、その年の年貢を全て納めたという請取証のことは「**年貢皆済目録**」といいます。

また、現代と違って、江戸時代には村役場がありませんので、村の長である**名主**の家が、そのまま役宅となっていました。したがって、支配領主から村宛に届く江戸時代の古文書などが、かつて名主を務めた家に、数多く残されているのは、そのためです。換言すれば、

年貢割付状などの古文書は、江戸時代の公文書でもあったため、残されたともいえます。だからこそ、かつて名主を務めていた旧家でも、それらを大切に保存してきたのではないのでしょうか。今回、新たに確認された大字佐左エ門某家の資料でも、**原史料**（一次史料）のほか、多くの江戸時代の古文書を後の時代に書き写しているものもありました。いづれにしても、地域の歴史を伝える貴重な史料であることには変わりはありません。こうした歴史史料や公文書を永く後世に、未来の地域の人々へと伝え残していくことが、実は現代を生きる我々に、課せられた使命でもあるのです。



（社会教育課 町史・文化財担当編）

Enjoy Sports ★ スポーツ協会 Vol.4
ママさんバレーボール連盟

問合せ 杉戸町スポーツ協会事務局
社会教育課 スポーツ振興担当 内線493

登録チーム

2チーム：ALIVE、FRODO

開催試合（年間予定）

6月 教育長杯争奪大会 7月 埼葛大会
9月 スポーツ大会（体協祭）（その他近隣市町の招待試合）

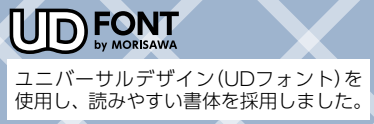
活動内容&PR

ママさんバレーボール連盟といっていますが、杉戸町で年2回開催される大会は男女混合で年齢制限もなく、未婚の人も参加できます。私は、はるか昔中学1年生の頃、その大会に参加したことがありました。オバさんたちに負けるわけがないと挑んだ試合でしたが、こてんぱんにやられ、涙した事を懐かし思い出します。

昨今、超高齢化社会へ突入し、いそじ大会（50歳以上）やことぶき大会（60歳以上）、おふく大会（70歳以上）があり生涯スポーツとして楽しめるバレーボールです。

ぜひ、一度見に来てください。一緒にプレーしましょう。

▶ママさんバレーボール連盟についての問合せ 事務局 杉野 美智子 ☎ (34) 3588



杉戸町
ホームページ



メール配信
すぎめー



広報スマホ版
マチイロ

